

第11期 (2024年度)

ジャーナリズム公開講座(全13回)

第1回 4月15日(月) 18:30~20:30

なぜジャーナリズムが 戦争と平和を科学する

民主主義は、納税者の代表である国会、ジャーナリズム、アカデミズムが機能して初めて健全さを維持できる。この納税者の代表が検証能力を欠いているのが軍事問題で、ジャーナリズムも政府や自衛隊OBの情報を垂れ流しがちだ。台湾有事論などを通じてジャーナリズムの奮起を促す。

静岡県立大学グローバル地域センター特任教授

小川和久



【講師略歴】1945年熊本県生まれ。陸上自衛隊生徒教育隊・航空学校修了。同志社大学神学部中退。日本海新聞、週刊現代記者を経て1984年、日本初の軍事アナリストとして独立。外交・安全保障・危機管理の分野で政府の政策立案に関わり、国家安全保障に関する官邸機能強化会議議員などを歴任。2012年から現職で静岡県の危機管理体制の見直しに取り組んでいる。『日本人が知らない台湾有事』『メディアが報じない戦争のリアル』『フテンマ戦記』など著書多数。

申込方法(要事前申込/先着)

会場開催 もくせい会館富士ホール

定員 100名 静岡市葵区鷹匠 3-6-1



左の二次元コードまたは
下記のホームページから
お申込みください。

●申込期限
4月14日(日)17:00

オンライン配信

定員 200名 Zoom ウェビナー

右の二次元コードまたは下記
のホームページからウェビナー
登録をしてください。登録完了
後に接続方法をご案内します。



●申込期限
4月14日(日)17:00

静岡県立大学グローバル地域センター <https://www.global-center.jp/>

電話: 054-245-5600 E-mail: nishi@u-shizuoka-ken.ac.jp (担当:西)